

公害訴訟と環境改善の取り組みの現地実習について ～京都精華大学／環境教育実習(公害地域の今を伝える)～



大阪国 道事務所
地 域 調 整 課

西淀川区では、かつて阪神工業地域等の工場のばい煙や自動車の排ガスにより公害訴訟が起き、その後、和解しました。以後、住民の協力と行政が一体となり沿道環境の改善施策に取り組んできました。

今回、環境に関する経緯や現状、また行政の取り組み等を調査しこれからの課題を考える大学の実習として、平成25年9月5日京都精華大学の学生さん(6名)が、現地に来られました。大阪国道事務所からは、当地区における道路環境の現状や沿道環境改善の取組み施策を説明させていただきました。

専門的な内容もありましたが、学生さん達は、真剣な眼差しで、また、いろいろな立場に自分を置いて考え、積極的に質問もされました。

今後も、このような機会を通じて道路環境など我々の取り組みを説明をしていきたいと思います。



対策事例の紹介(ACF(高活性炭素繊維)による大気浄化)



対策事例の紹介(光触媒塗装による大気浄化)



道路環境の現状、要因、取り組みなどを説明